

取扱い説明書

⚠ 危険

レバーホイストは重量物を扱う関係上、安全対策をおこたると品物の破損とが、生命をなくする危険があります。万一のことを考えて慎重にお使い下さい。

- ① 表示トン数以上の荷重を加えないこと。  
レバーを故意に長くして使用しないこと。



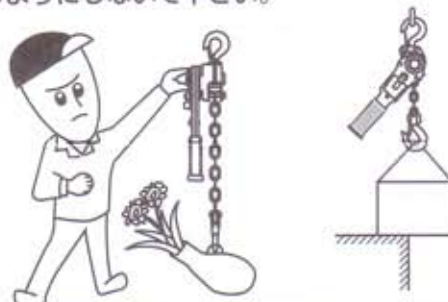
- ② オーバ荷重操作をして、部品に変形が生じたものは使用しないこと。



- ③ 上下フックとチェーンが曲がらずに一直線になるように使うこと。



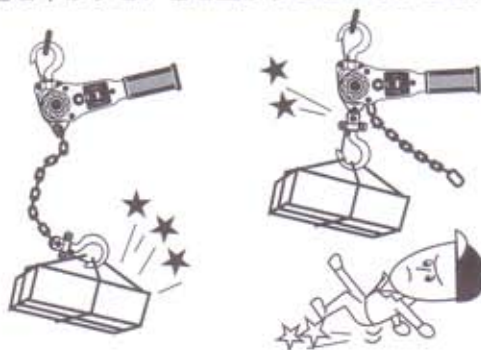
- ④ 巻戻し作業によりつり荷を巻降するとき、つり荷を障害物に引掛けるなどして見かけ上無負荷の状態になるようにしないで下さい。



- ⑤ キリカエレバーをDにしたままでエンド側のチェーンを引かないこと。レバーが廻り顔に当たります。



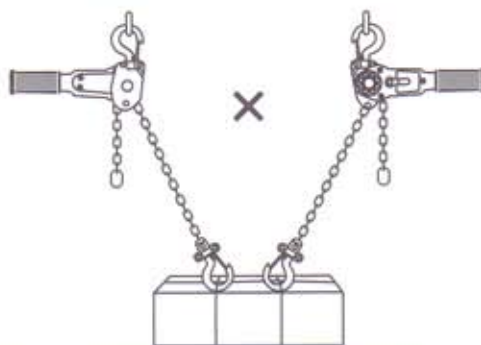
- ⑥ 巻き下げすぎ、巻き上げすぎをしないこと。



- ⑦ つり荷の下に入らないこと。



- ⑧ 2丁づりはしないこと。



## 使用前の準備

1. チェーンに軽く油をさして、リンクの動きをよくし、チェーンのタテリンクが端から端まで、まっすぐにねじれないようにしてから使って下さい。
2. 上、下フック、チェーンにムリな力がかからないように、上フックとつり荷が一直線になるように取付けて下さい。(表面説明③)
3. 0.25、0.5 トン用に限界以上の荷重を掛けて使われるとハンドルが動かなくなります。例えばトラックの荷締めの場合、車が急カーブしたときなどチェーンに瞬間的にオーバ荷重がかかってしまいます。このような場合は1ランク上の機種をお選び下さい。

## ●正常操作の使い方 (荷がかかっている状態での操作)

### 操作の仕方



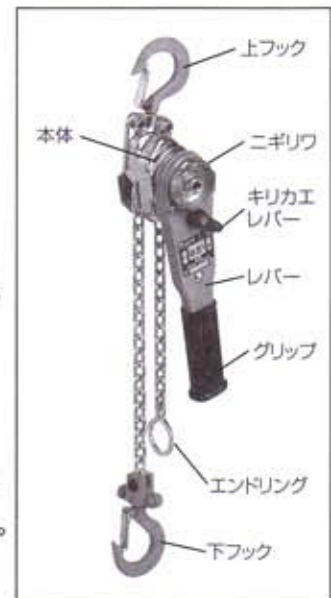
キリカエレバー  
DOWN

#### 1. 巻上げの仕方

キリカエレバーを左↑(UP)方向にします。  
グリップをつかんで往復運動をします。  
荷は時計方向に動いただけ巻上げられます。  
巻上げるまでにチェーンがタルんでいる時は、ニギリワを時計方向に回すだけでチェーンのタルミがとれます。

#### 2. 巻下げの仕方

キリカエレバーを右↓(DOWN)方向にします。  
グリップをつかんで往復運動をします。  
荷は反時計方向に動いただけ巻下げられます。  
\* 正常操作中はキリカエレバーを右、左、中央のどちらを動かしても常にブレーキはきいています。  
\* レバーのクイック操作はしないで下さい。



## ●空転操作の使い方 (荷なしの状態でのチェーンの長さを調節する方法)

### 空転の準備

1. キリカエレバーを中央の位置(N)に合わせます。  
自動空転式ですから、この操作だけでチェーンの右側、左側の長さ調節ができます。  
参考：空転操作がしにくい時には、キリカエレバーを(DOWN)にしてからハンドルを1~2回動かします。  
次にキリカエレバーを(N)にして下さい。  
空転の時チェーンを強く引きすぎると、ブレーキが締まりチェーンが動きません。  
その時も「参考」と同じようにして下さい。



空転操作をする前は下フックにワイヤ等の吊りひもが残った状態では、絶対にしてはいけません。  
【理由】 たて長の荷が床についてから、キリカエレバーをNにして荷を倒せば、空転操作でチェーンを引いたのと同じことになり荷は倒れます。

### 空転の解除

1. 下フックに荷がかかるまで、エンド側のチェーンを引っ張ります。  
キリカエレバーを(UP)方向にし往復運転します。  
参考：空転状態でも下フックに荷重をかければ自動的にブレーキがかかります。

## 使用後の処理

### 巻下げ不能時の処理の処理

図1の手順

- ① 本体の上フックを足で押さえ固定します。
- ② キリカエレバーを右 (DOWN) 方向にします。
- ③ ハンドルを45°迄持ち上げます。
- ④ ハンドル グリップの先端を← 印方向へハンマーで衝撃的な力を加えて下さい。
- ⑤ 図2のようになれば巻下げ不能が解除されます。

